

名ガ最モ適當ト思ヒ此名ヲ附シタ次第デア、本菌ニハ曾テ *Collybia tenacella* Pers. ノ學名トまつかさしめち
 トノ和名ガ用キラレテキルガ夫レハ多分命名者ノ見タ標本ガ特ニ莖ノ短カイモノデデモアッタデアラウ、元
 來何々しめちト呼バル、菌ハ多クハしめち屬 *Tricholoma* ノモノデいつぼんしめちノ如キ他屬ノ菌ニ與ヘラレ
 タルモノモアルガ一般ニしめちノ名ヲ有スル菌ハ肉ニ富ミ莖モ太イモノデアッテ本菌ノ如ク肉ガ薄ク莖ガ非常
 ニ細長イ菌類ニハ決シテ用キラレテキナイカラ本菌ヲまつかさしめちト呼ブノハ適當デナイ、松毬ニ生エル特
 性アルガ爲まつかさたけトスルニハ他ニ針茸科 (*Hydnaceae*) ニ屬スルまつかさたけ *Hydnum auriscalpium* L.
 ガアルカラ夫レト區別センガ爲單ニまつかさしめちトシタモノデアラウ、まつかさたけモ亦松ノ毬果ノ地上ニ
 落チテ腐朽シテキルモノニ生エ其大サモ大體同ジデア、蓋ハ腎臟形デ、莖ハ蓋ノ横ニ直角ニ附キ、蓋ノ裏面
 ニハ無數ノ針ガ生エテキルかうたけヤかのした等ト同屬デかうたけ科 (*Hydnaceae*) ニ屬スル、全體ノ質ガまつ
 かさつゑたけニ比シ硬ク乾イタ後モヨク原形ヲ保持シテキル、又其ノ生エテキル松毬モ往々原形ヲ完全ニ保ッ
 テキル、之レニ比シまつかさつゑたけノ生エテキル松毬ハ黒ク濕ッテ腐リ堀リ出シタ時ハ一見土塊ノ觀ガアリ
 水デ洗ッテ漸ク毬果ノ形ヲ明瞭ニ現ハスニ至ルトイッタ具合ニジクト、濕ッタ林中地下ニ埋没セル毬果ニ生エ
 ル (昭和三年一月十日稿)

○獨逸伯林ダーレムニ咲キ匂フ藤ノ花

在伯林 藤 田 直 市

此寫眞ハ獨逸伯林ダーレムノ植物園デ *Japanische Laube* (日本ノ涼亭) ト題シテ賣ッテ居ルモノデアリマス、
 涼亭ノ右ニ咲キ匂フふぢノ花ノ盛觀ヲ見テハ歐洲採藥ノ旅ニ遍歴シテ居ル私トシテハ故國ノ初夏ガ偲バレマス
 ソンナ女々シイコトハ兎ニ角トシテ此寫眞ハダーレム植物園ノ門衛ノ處デ買ヒマシタ私ガコノ寫眞ニ見トレテ



伯林ダーレム植物園ノ日本式涼亭トふじノ花(Wisteria floribunda DC.)

居タラ門番ノ奴不思議ガツテ僕ニ顔ヲツキツケテ見テ居ヤガツタカラ僕モ異國ニ來テ自國ノ植物ノ寫眞ヲ賣ツテルノヲ見テ居タトテ別ニ不思議ナ筈モナケレバ不都合ナ譯モナイカラ其處デ僕ハイサ、カ茶目氣分ヲ發揮シテ早速此寫眞ヲ買ヒ求メお前達ノ様ナ何等情調モナサ、ウナ奴原ニおれノ現在ノ心境ガ判ルモノカイト言ツタ調子デイキナリ藪カラ棒ニおれノ近頃メッキリ上達シタ(?)流暢ナ音調デOh! Heimats Pflanzen! ト言ヒナガラコノ寫眞ヲ押頂イテ斷然「キッス」ヲシテ見セテヤツタラ例ノ無粹ナ門衛ノ奴變ナ様子ヲシテクスグツタイ様ニ笑ツテケツカッタ、于時昭和二年十二月廿六日即チ異國ニ於テハくりすますノ翌日ノ事デアッタ(藤田氏通信ノ一節)

○武州狭山茶ノ由來

藥學博士

刈 米 達 夫

我國ニ茶樹ノ傳ハッタノハ西曆七八〇年頃傳